



創立50周年を迎え、 決意を新たにさらなる半世紀へ

「樹を切り 草を刈り 道がつけられた クロフォードの測量隊は砂利を敷き 枕木をならべて 鐵道を施設し樹林のなかに小さな駅舎が建ち 将来交通の要路にならん 岩見沢駅と名づけられ 初めて汽車が走った 黒煙をはき 地ひびきをたて 赤い焔をふいて 原始林に 吠えつく 野獸もおど

ろき 野鳥もあわてて姿を消した」
(交響詩『岩見沢』)

岩見沢 は明治17年に開村し、爾來風雪124年、道央の交通の一大拠点として発展してきました。以前は、東京以北で最大の機関区を擁する鉄道のまちでもありました。

1956年11月3日、16名の若き青年たちが英知と勇氣と情熱をもって立ち上がり、岩見沢JCは、札幌JCのスポンサーのもと全国で105番目、北海道では20番目の青年会議所として設立されました。翌年2月9日には、全国で初めての認承証伝達式が盛大に執り行われました。以来、まちの未来に思いを馳せ歩み続け、

昨年、創立50周年という大きな節目を迎えさせていただきました。今年、本山博司理事長のもと、「力強く踏み出そう 次代への第一歩」JAYCEEとして、地域のリーダーとして「のろーガン」を掲げ、50年の歴史を振り返り、次の半世紀に向け決意を新たに事業を展開しております。そんな現役をサポート



50周年式典歴代理事長



新OBを迎える
タベ



歓迎レセプション

松本忠彦会長率いる岩見沢JC OB会は、従来からの「金は出しても口は出さない」をモットーに、積極的な変化の創造を標榜し、新たな半世紀に向けて頑張る現役たちの自主的な積極性を継続して応援してまいります。

日本JCシニア・クラブ
道央ブロック担当幹事 菅野聖人



親睦を深めた
50周年 懇親会



50周年懇親会での大韓民国裡里(イリ)JCOB会長あいさつ

トするため、岩見沢JC OB会では今年も2月に5名の新OBを迎えての総会を皮切りに、7月の納涼ビールパーティー、9月の「ふるさと百餅祭り」での百餅御輿への参画、12月の忘年会とOB会員相互の親睦はもちろんのこと、すべての事業で現役を交えての親睦を図る予定となっております。